

自動車関連ITS分野の技術戦略マップを策定

(財)日本自動車研究所(理事長:小枝 至 日産自動車共同会長、以下 JARI)は、このたび自動車関連のITS分野に関する技術戦略マップを策定し、報告書にとりまとめた。

同マップは、JARI 内に設置した自動車ITS技術戦略マップ検討委員会(委員長:津川定之名城大学教授)にて検討を行ったもので、セカンドステージに入ったITSの技術開発推進に資するため、2020年位までに必要となる技術開発課題を時間軸上にマッピングしたものであるが、幅広いITS関連技術の中でも、特に自動車に関連する技術開発課題に焦点を当てて策定している。

技術戦略マップは、経済産業省および新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)が我が国の技術的な競争力を強化すること等を狙いとして、情報通信分野や環境・エネルギー分野などの要素技術を中心に整備しつつあり、主な成果物として、導入シナリオ、技術マップ、ロードマップの3点から構成されている。

今回 JARI がとりまとめた自動車関連ITS分野の技術戦略マップは、関連する要素技術の技術戦略マップとの相互利用が可能となるよう、検討スパンや成果物を合わせて策定している。

技術戦略マップの検討にあたっては、まず 2020年位までを見通した上で7つのITSサービスを設定し、それらの円滑な導入に必要な研究開発の取り組みや関連施策を「導入シナリオ」として整理している。

次にそれらのサービスを実現するために必要となる機能や技術を検討し、抽出した46の要素技術を、6つの大分類技術、20の中分類技術に括り「技術マップ」として体系的に整理するとともに、その中で特に重要と思われる18の技術を「重要技術」として整理している。

最後に抽出した46の技術全てについて5年毎の時間軸上で技術的な進展を示し、「ロードマップ」としている。

同報告書によると、技術戦略マップにおける重要技術が開発されることにより、2020年の車は、車内外のセンサーを複合的に利用して自車両の走行状態や周辺の交通環境を総合的に認識するとともに、ドライバーの運転特性や心身の状態を的確に把握しながら必要に応じて各種サポートが行なえるようになるとしている。

同技術戦略マップは、ITSという横断的な分野の技術開発の方向について、幅広い関係者が議論する際の一つのたたき台を示したという点で意義深いものとなっている。なお同マップは、JARIのホームページ(<http://www.jari.or.jp/>)にて閲覧が可能である。

以上

◇本件に関するお問い合わせ先:

財団法人 日本自動車研究所(JARI)ITSセンター 蓮沼、国弘
東京都港区芝大門 1-1-30 日本自動車会館
電話:03-5733-7924 Eメール:itstokyo@jari.or.jp

(参考)

自動車関連ITS技術の全体像

